

2025 田野紙春号

-TANOSHI-



撮影：湊満重さん

災害の備えできていますか

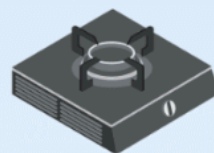
家庭での備蓄

いつ起こるかわからない台風や地震、豪雨などの大きな災害。いざ災害が発生すると、電気、ガス、水道などのライフラインが使えなくなったり、道路ががれきで塞がれたり水没したりして、物流が機能しなくなったりするおそれがあります。過去の例によれば、災害発生からライフラインの復旧まで1週間以上かかるケースがほとんどです。また、災害支援物資が届かないことや、スーパーやコンビニで食品が手に入らないことが想定されます。

そのため、水とカセットコンロなどの熱源は必需品です。防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ、普段の生活の中で利用されている食品等を備えるようにしましょう。

食料・飲料・生活必需品などを家族人数分の最低でも3日間分（可能な限り1週間分程度）の備蓄をしましょう。

- ・飲料水 1人1日3リットルが目安
- ・食品 ごはん、缶詰、レトルト食品、干物、乾パンなど
- ・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、携帯トイレ、簡易トイレ、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど



田野総合支所内の備蓄品（毛布）

宮崎市の備蓄

宮崎市でも災害に備えて、総合支所・地域センター・学校など123か所の備蓄倉庫に、食糧や水などの備蓄を進めています。

防災初期の生命維持や生活に最低限必要な「食料、飲料水、乳児用粉ミルク、液体ミルク、哺乳瓶、毛布等、乳児・小児用おむつ、大人用おむつ、簡易トイレ、トイレット、携帯トイレ、トイレットペーパー、おしりふき、生理用品、マスク、手指消毒液、段ボールベッド・簡易ベッド、エアーマット、簡易パーティション、タオル」を備蓄することとしています。

防災ワークショップ

令和8年2月18日、田野地区交流センターで、田野地区地域包括ケアシステム推進委員会（前田咲子会長）主催の「田野地区防災ワークショップ～見て・触れて・考える～」が開催されました。介護・医療従事者や民生委員など約80名が参加し、田野総合支所の担当職員から災害時の避難所運営や支援体制の現状について説明を受けました。

説明では、田野町は津波直達の可能性は極めて低いものの、大雨によるがけ崩れや土石流、南海トラフ地震では震度6弱～6強の強い揺れが想定されること、台風や集中豪雨による浸水リスクがあること。また、沿岸部からの避難先としての役割が期待されていることなどが示されました。

参加者は、段ボールベッドの組み立て体験や避難所設備・受入れ環境の確認やマンホールトイレ・市の備蓄品の見学を行い、実物に触れながら理解を深めました。最後に「災害時、自分の立場で何ができるか考えてみよう」というテーマでグループ討議を行い、「介護の必要な高齢者の避難が心配」「常日頃からの避難計画が必要」といった意見が発表されました。



段ボールベッドの備蓄



段ボールベッドの組み立て体験



みんな来よう

キッチンカー
多数出店

鰻フェス

3.14 土曜日 10:00~16:00

場所 ケアネクストカレッジ
現 宮崎医療管理専門学校
宮崎市田野町甲1556-1

ステージイベント
スーパーカー・自衛隊車両展示
ミニ四駆大会
抽選会・せんぐまきなど多数

主催 田野町商工会青年部



おTANOしみマルシェ

昨年12月7日に宮崎医療管理専門学校で、「おTANOしみマルシェ」を開きました。天候にも恵まれ、大勢の方にお越しをいただきました。野菜つめ競争などのステージイベント、キッチンカー、プレイパークなどなど。みなさんに喜んでいただきました。また、当日は往復5.5kmの「健幸ホクホク山ウォーキング」も開きました。



田野駅の北側といえは、いまは住宅が立ち並んでいます。かつては一面の桑畑だったそうです。

一帯はある製糸会社の所有でしたが、大正時代に、その会社に勤めていた妹尾興一という人が、当時としては珍しい建売住宅をこの土地に建てていったのです。たちまち桑畑は、三〇〇戸ほどの新興住宅街に変貌。いまでいうところの土地開発を一人でやってのけたのです。また、当時宮崎県庁に一台しかなかったトラクターを借用し、鷺瀬原の開墾に着手、松林を見事な畑に開墾したそうです。

この興一さん、目新しいものが好きで、芝居とか無声映画や大相撲の巡業を呼んだり、まだ珍しかった風呂屋を作ったり、ときには身銭を切って、いろいろ

田野 興一町 よいちまち



興一さんの記念碑

ろな新期事業を手がけ、人々を喜ばせていたといえます。

恰幅の良い興一さんが、トリードマークの丹前を羽織って町を歩くと、大人も子どもも笑顔で声をかけたといえます。

いまは、七つの自治会に分かれているこの地区も、昔は「北桜」という一つの地区でした。当時、北桜と言わないで、みんな親しみを込めて「興一町」と呼んでいたそうです。

現在も、くろきストアー前の道路に興一さんに由来する記念碑が建っており、この場所から町を見守っているかもしれませぬ。

「ふるさとむかしばなし」より

掲示板

鰐塚山に登ろう

4月第2週の日曜日（令和8年は4月12日）は「鰐塚登山の日」です。イワザクラ咲く鰐塚山に登りませんか。当日は、鰐塚山登山道入口で午前9時に集合して、みんなで登りましょう。



大根の収穫体験

ファームマルシェ

田野町のアカサカファームでは、親子での食育体験、生産者と消費者がつながることを目的に「アカサカファームキッズクラブ」を月1回のペースで実施しています。

1月17日のキッズクラブでは、畑で大根を収穫し、寒風にさらして甘みを引き出す保存の知恵を、親子で体験していました。

今回は、ファームマルシェも同時に開催しました。薪窯パン、麴料理、石焼づくり、おでんやチーズケーキタルトなどを味わっていました。

TANOななっちゃん

「TANOななっちゃん」が1月10日（土）午前10時から、田野児童センターで行われました。

TANOななっちゃんは、田野の自然と文化に根ざし、地域の未来を育む拠点をめざしています。0歳から年齢制限はなく、誰でも自由に参加できるのが特徴です。ふらっと立ち寄れば遊びとつながる場があり、ねらって来れば深い学びや気づきがあります。

TANOななっちゃんは、子どもも大人も共に育ちあう実験の場です。

今回は、44名の子どもや保護者が参加し、自由遊びや森のアトリエ、たき火、青空図書館を思い思いに楽しみました。

たき火では、アウトドアクッキングに挑戦し、たき火でパンや卵を調理しました。みんなで火を囲みながら美味しく食べ、とても温かいひと時になりました。

今後も、年4回から6回の実施を予定しています。誰でも自由に参加することができます。遊びに来てね。



たき火でお料理

ありがとうございました



昨年12月1日から行っていた「田野駅前大根やぐら等イルミネーション」が、令和8年1月24日をもって終了しました。各放送局に取り上げられるなど好評を博しました。

大根やぐらの設置や撤去、飾付けなどについては、JA田野支店青年部、田野中学校、田野・七野小学校、宮崎銀行・宮崎太陽銀行・宮崎第一信用金庫の各田野支店、宮崎市田野総合支所のみなさま、ボランティアのみなさまの協力のもと行いました。誠にありがとうございました。

また、田野町地域婦人連絡協議会のみなさまには、カレーを作っていただきました。ありがとうございました。

（株）ソディック エフ・ティには、駅前の樹木、自転車置場などのすばらしいイルミネーションを担当していただきました。感謝申し上げます。

知ってtano!?

プレゼントクイズ

- クイズ（1）食料等の備蓄は最低でも何日分？
- クイズ（2）鰐フェスは何月何日？
- クイズ（3）鰐塚登山の日は何月何日？

<応募条件> 田野町内外問いません。

①クイズ(1)(2)(3)の答え②住所③氏名（ペンネームも）④電話番号⑤田野紙や田野まちづくり協議会への意見や要望などを記入の上、ハガキやmailでご応募ください。当事務所へ直接持参でも可。

1人につき応募1回。当選発表は次号で掲載します。※個人情報 は景品発送時に使用します。

4名様に図書券1,000円進呈 応募締切 4月末必着

前回の答えは（1）12月7日（2）5.5Km（3）田野船 でした。

当選者は、ノンちゃんさん ミゾリンさん とらさんさん ラッキーさんでした。

おめでとうございます。

「子どもから高齢者まで安心して暮らせる住みよいまちづくり」まちづくり協議会は、地域コミュニティ活動交付金を活用して事業を行っています。



<https://tano-machikyo.jp>



LINEの友だちを追加



@TANO.MACHI

応募先
〒889-1795
宮崎市田野町甲2818
田野まちづくり協議会
mail:tanomatidukuri@miyazaki-catv.ne.jp